

DUET

デュエット

2022.4
VOL.31

GUIDE DOG
MAGAZINE



特集

みんなで挑戦! 盲導犬〇×クイズ
～盲導犬について知ろう!～

寄附金控除の対象になります

DUETサポーター

継続的にご支援を
いただく寄附制度です



盲導犬の育成普及事業を
継続的にご支援いただく
寄附サポーター制度を設立しました。
ご支援方法:
郵便・銀行、クレジットカードより
お選び頂けます。



募金箱設置店も
募集中

月1 サポーター (毎月)	クレジットカード限定 500円 / 1,000円
サポーター (年1回)	クレジットカードがおすすめ 3,000円 / 5,000円 / 10,000円
法人サポーター (年1回)	50,000円

クレジットカードでのご寄附は
こちらから



まずは、お気軽にお電話ください。 /

☎03-5367-9770

DUET

2022年4月発行 編集人/篠田 林歌 認定NPO法人 全国盲導犬施設連合会 発行
〒162-0065 東京都新宿区住吉町5-1 吉村ビル2階
TEL.03-5367-9770 FAX.03-5367-9771 www.gd-rengokai.jp

年1回4月発行

盲導犬のお仕事編

もし、信号待ちなどで困っているユーザーを見かけたなら、「信号は青ですよ」と教えてくださると、その一言でユーザーは安心して、安全に道路を渡ることができます。

(※ユーザー…盲導犬使用者のこと。)

盲導犬の仕事は、基本的に「角で止まる」、「段差で止まる」、「障害物を避ける」、「この3つの基本動作によって、ユーザーが安全に歩くために必要な情報を提供すること。盲導犬がナビゲーターのように道案内をしているわけではなく、ユーザーが頭の中に目的地までの地図を描き、盲導犬に指示を出しています。

ユーザー(※)自身が人の流れや車の音などで信号が、いま赤か青かを判断し、盲導犬に指示を出しています。

盲導犬は信号の色がわかりません

答えは×

Q1 盲導犬は信号の色がわかる



Q2 盲導犬は24時間働いている

答えは×

お仕事はユーザーの外出時だけ

ユーザーの外出時に歩行をサポートすることが盲導犬の仕事なので、外出時以外の時間は、仕事はしていません。

家にいる時はハーネスを外し、自由にユーザーと遊んだり、ゆっくり寝たりと一般の家庭犬と同じように過ごしています。

お仕事とその他の時間の違いは、ハーネスを着けるか着けないか。盲導犬は上手に切り替えています。

ハーネスを着けている時は「お仕事」なので、さわったり、声をかけたりしないようにしましょう。また、犬の目をじっと見つめて気を引くこともやめましょう。仕事に集中しているのに、気が散ってしまい、ユーザーを安全に誘導できなくなってしまう。



特集

みんなで挑戦!盲導犬〇×クイズ ~盲導犬について知ろう!~



みなさんは盲導犬について、どれくらい知っていますか?
「『盲導犬』って聞いたことはあるけれど実際よくわからない…」
「ネットで見たり聞いたりしたことがあるけどそれって本当なの?」
そんな盲導犬についての様々な疑問にお答えします!
〇×クイズになっているので、是非挑戦してみてくださいね!

盲導犬ユーザーとの生活編

Q6 盲導犬のお世話はユーザーがしている

答えは○
お世話はユーザー自身で
 視覚に障害がある人が、犬のお世話をできるの? そう思う人もいるかもしれませんが、毎日の食事や排泄はもちろん、シャンプーやブラッシングなど、盲導犬のお世話はすべてユーザー自身が行い、犬の身体を清潔に保っています。盲導犬の衛生管理・健康管理を行うことは法律でもユーザーの義務とされています。



排泄の様子

Q7 盲導犬はトイレを我慢している
答えは×
我慢はさせません
 なかなか盲導犬が排泄をしている姿を目にする機会がないからか、「盲導犬はトイレを我慢しているんじゃないか」と誤解されることがありますが、そんなことはありません。犬に排泄を我慢させることがないよう、餌や飲料水の量やタイミングを考慮し、定期的に排泄を促すようにしています。また、外出先でも排泄に対応できるよう、ユーザーは排泄用の道具を携帯して準備をしています。



Q8 盲導犬には「引退」がある
答えは○
盲導犬は10歳前後を目安に引退をします
 引退後は、引退犬飼育ボランティアさんの家や協会の引退犬のための施設で、最期までみんなに愛されて過ごします。また、盲導犬の寿命は短いと誤解されることがありますが、健康管理をしっかりしているので、平均寿命は家庭犬として生活するラブラドル・レトリバーと変わりません。

盲導犬の訓練編

Q3 盲導犬の訓練は厳しい

答えは×
できたら「グッド!」で楽しく訓練
 「盲導犬の訓練は厳しい」というのも誤解されやすいことの一つですが、決して厳しい訓練はしていません。訓練は遊びを通して、楽しみながら盲導犬としての仕事を覚えていきます。ポイントが「褒めること」。できたら「グッド!」と思いきり褒め、犬が楽しく仕事ができるように、訓練士は工夫しながら訓練をしています。ただ、訓練した犬が全て盲導犬になるわけではありません。それは、訓練をしていく中で盲導犬に向いている犬しか盲導犬にはしないからです。10頭いけば盲導犬になるのは3〜4頭。盲導犬にならなかった犬は、啓発活動でデモンストレーションをするPR犬として活躍したり、ボランティアさんの家庭でペットとして暮らしたりします。それぞれの犬に合った道を選ぶことを大切にしています。



Q4 盲導犬は絶対に吠えない

答えは×

おとなしいイメージがある盲導犬。しかし、全く吠えないわけではありません。外などでむやみに吠えることはありませんが、例えば、ユーザーと家で遊んでいる時や寝言で鳴いたり、尻尾を踏まれてびっくりした時に思わず「ワン」と吠えてしまうことはあります。何をされても耐えて吠えない訓練というのは、一切していません。

Q5 盲導犬はユーザーが購入している

答えは×

盲導犬は「無償貸与」

当連合会の加盟施設では、視覚障害者に盲導犬を無償で貸与しています。

また、貸与後も定期的にフォローアップを行い、ユーザーが安全に盲導犬との歩行を続け、暮らすことができるようサポートしています。盲導犬の育成費用はそのほとんどが皆さまからの寄附・募金によって支えられています。温かいご支援をよろしく願っています。



盲導犬ユーザーからのメッセージ

パートナーとなら、行きたい時に行きたい場所へ

私は、一人での外出が出来なかったので、盲導犬を持つ前はガイドヘルパーさんや友人に頼っていました。

しかし、盲導犬を使用するようになってからは急な用事でも時間などを気にせずに、行きたい時に行きたい場所へ、安全にパートナーと外出できるようになりました。また、家にいる時もパートナーがいるので寂しさも少なくなりました。



山口 新太郎さん & 盲導犬エマ
(福岡県)



🐾 周りの人の声掛けで無事目的地へ!

地下鉄や地下街、自宅周辺などで盲導犬と歩行中に道に迷ってしまうことがありました。そんなとき、周囲の人が声を掛けてくれて、目的地までの進路を立て直すことができ、無事に目的地に着くことができました。

🐾 入店拒否で外出を躊躇うことも…

友人と旅行や外出をする際に、盲導犬を同伴していることで宿泊施設や飲食店などで入店拒否に遭うことがあります。入店のための交渉などに時間を要するため、同行する皆さんへの迷惑を考えると、外出を躊躇う事があります。

盲導犬に対して理解はだいぶ進んできたように思いますが、「盲導犬は可哀そう」という意見や、入店拒否や乗車拒否などはまだまだあります。もっと盲導犬理解への啓発をしていかないといけないように思います。

🐾 盲導犬を応援してくださる皆様へ

盲導犬は皆様のあたたかいご支援により育成されています。私も募金にご協力いただいた方々のおかげで今のパートナーと出会うことが出来ました。皆様には心より感謝申し上げます。現在、コロナ禍のため各盲導犬協会では募金活動などが行えず大変だと伺っています。盲導犬と歩きたいと考えている視覚障害者はまだまだたくさんいます。どうか皆様のお力添えを心からお願いいたします。



盲導犬との接し方編

Q9 盲導犬はお店に入れる

答えは○

盲導犬は入れます



盲導犬を含む補助犬は、お店や病院、ホテルなど不特定多数の人が利用する施設にユーザーと一緒に入ることが出来ますし、バスや電車にも乗ることが出来ます。これは「身体障害者補助犬法」という法律で認められています。

しかし、残念ながら盲導犬同伴を理由に入店・利用を断られるケースがまだまだ多くあります。

盲導犬同伴を当たり前とする社会づくりのために、これからも私たちは加盟施設一丸となり、盲導犬の受け入れ促進活動を推進します。



店内や車内ではユーザーの足元でおとなしく待機します

Q10 盲導犬はソーシャルディスタンスがとれる

答えは×

周りの人との距離はユーザーが判断しています



コロナ禍の感染症対策でソーシャルディスタンスが日常となった昨今ですが、例えばお店でレジに並んだ時に、盲導犬は前の人や周りの人との距離をとることはできません。

視覚障害者が、周りの人との距離がわからなかったり、お店の入りの消毒液の位置がわからなかったり、周りの人にサポートを頼みづらかったりと、コロナ禍で困ることもできています。

もしユーザーが困っている様子を見かけたら、「何かお困りですか?」と、是非、声かけのサポートをお願いします。あなたのその一言が大きな安心に繋がります。

ご協力方法

全国の盲導犬へ
温かい応援をお願いします

- 当連合会へ寄付をする
本誌はさみこみの郵便払込取扱票をご利用ください
- DUETサポーターになる
継続的にご支援いただく制度です
- 募金箱の設置協力
お店等で設置にご協力をお願いします
詳しくは ☎03-5367-9770までお電話ください

さて、クイズの結果はどうでしたか?
盲導犬について聞いたことはあっても、意外と知らなかったこともあったのではないのでしょうか。
全部知っていたよ!という方は是非、周りの人たちへその知識を広めてください。
様々な情報が溢れる現代社会、残念ながら中には間違った情報もあります。大切なのは「正しく知っていたこと」。そうすることで、盲導犬をもっと身近に感じてもらいたい、私たちは活動を続けています。
盲導犬ユーザーが安心して、行きたい時に行きたい場所へ出かけることができるよう、これからも皆さまのご理解・ご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。



皆様に支えられ

盲導犬はこんな一生を送ります



1 誕生

盲導犬に適した血統を持つ繁殖犬から生まれます。

2 生後2か月頃

パピーウォーカー（子犬を飼育するボランティア）の家庭で、愛情をこめて育ててもらいます。

3 訓練スタート

1歳になると、盲導犬協会に戻ってきて、約6～12ヶ月間、盲導犬になるための訓練を受け、その間に盲導犬としての適性が評価されます。

4 共同訓練

盲導犬としての適性が認められ、訓練を修了した犬は、視覚障害者との共同訓練に入ります。視覚障害者は、盲導犬との歩き方や世話の仕方を学びます。さらにユーザーとなる視覚障害者の生活エリアで歩行指導も受けれます。

5 共に歩く

ユーザーと盲導犬は互いに協力し、パートナーとしての絆を深めていきますが、ユニットとなった後も、必要に応じて盲導犬協会から盲導犬との生活や歩行のフォローアップが行われます。

6 ハーネスを外す日

盲導犬は10歳前後を目安に引退します。引退した盲導犬はボランティアの家で家族の一員として楽しく暮らしたり、育った協会で十分なケアを受けながら、最期まで皆に愛されて過ごします。

盲導犬と歩くユーザーに出会ったら

皆様への大切なお願い



盲導犬は工作中、**白または黄色のハーネス**をつけています。



ユーザーの方へ声をかけてください。

盲導犬を連れていても道に迷ったり、周囲の状況が分からずユーザー自身が不安になる場合があります。

ユーザーが困っている様子を見かけた際は、盲導犬ではなく、ユーザーの方に「何かお手伝いしましょうか」と声掛けをお願いします。

ハーネスをつけた盲導犬は「工作中」です。

盲導犬がハーネスをつけているときは、歩いている、いないにかかわらずさわったり、声をかけたりしないようにお願いします。

また、さわらなくても犬の目をじっと見つめるのもやめましょう。気が散ってユーザーの指示に集中できなくなってしまいます。

盲導犬におやつなどの食べ物をあげないでください。

盲導犬は、健康管理のため、そしてトイレのタイミングをコントロールするために食事の時間・量も決まっており、犬の体質に合ったドッグフードを、ユーザーが与えています。「かわいい」と思っても、食べ物や水を与えないでください。

無断で盲導犬やユーザーの写真、動画などを撮らないでください。

ユーザーは目の見えない、見えにくい方ですので、突然シャッター音がすると何を撮られているのか分からず不安になります。またユーザーが写り込む場合は本人のプライバシー侵害の恐れもありますし、カメラのシャッター音やフラッシュにより、盲導犬が仕事に集中できなくなる可能性もあります。

盲導犬の写真を撮りたい場合はユーザーに事前に声をかけ、了解をとってください。

都道府県別の盲導犬実働数 861頭^(※)

(※)全国盲導犬施設連合会に加盟していない育成団体の数字も含む

北海道…41	埼玉県…46	静岡県…33	鳥取県…5	佐賀県…5
青森県…6	千葉県…26	愛知県…35	島根県…12	長崎県…4
岩手県…8	東京都…98	岐阜県…7	岡山県…16	熊本県…4
宮城県…26	神奈川県…66	三重県…9	広島県…18	大分県…10
秋田県…11	新潟県…26	滋賀県…13	山口県…16	宮崎県…10
山形県…6	富山県…6	京都府…10	徳島県…4	鹿児島県…11
福島県…19	石川県…13	大阪府…55	香川県…7	沖縄県…9
茨城県…17	福井県…6	兵庫県…35	愛媛県…10	
栃木県…10	山梨県…18	奈良県…15	高知県…6	
群馬県…8	長野県…17	和歌山県…4	福岡県…24	

2021年3月31日現在

社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会 自立支援施設部会盲導犬委員会
「2020年度盲導犬訓練施設年次報告書」より



募金箱設置・寄附協力企業

敬称略・あいうえお順

- (株)イトーヨーカ堂
- (株)銀座マギー
- ジェームス
- (株)たいらや
- (株)ビバホーム
- (株)フジ
- (株)マスタ
- メットライフ生命保険(株)
- (株)ヨーク
- (株)エコス
- (株)ゲオ
- (株)セブン&アイ・フードシステムズ
- (株)ダイエー
- フェリシモ基金事務局
- (株)ベルシステム
- (株)明光ネットワークジャパン
- ユニー(株)
- (株)和真

以上の企業様のほか個人店舗設置の募金、企業や大勢の個人の皆様のご寄附・ご協力により、当連合会の活動は支えられ、運営されています。

皆様からお寄せいただく募金・寄附は、盲導犬無償貸与事業にかかる費用として役立てられる他、盲導犬を育てる訓練士の資格認定、全国的なイベントでの啓発活動など、盲導犬事業のための、共通に関わる費用として、活用させていただきます。

パトラッシュの募金箱。
全国各地で活躍中!



©NIPPON ANIMATION CO., LTD.

パトラッシュ基金

全国盲導犬施設連合会と日本アニメーションが発足した「パトラッシュ基金」では、募金箱の設置、チャリティーオークションの開催、各種イベントでの募金活動、インターネット募金の受付などの活動を行っております。詳しくは公式サイト、もしくは全国盲導犬施設連合会までお問い合わせください。

日本アニメーション株式会社
〒104-0061 東京都中央区銀座 7-11-14 uhb ビル
TEL 03-3574-6281 (平日 10:00~16:00)
公式サイト www.nippon-animation.co.jp/pattrash/



補助犬OKの気持ちはステッカーで表示を!

全国盲導犬施設連合会では、盲導犬や介助犬、聴導犬を受け入れることを示していただくための「補助犬同伴可ステッカー」を作成して、お店の入口等に貼っていただいています。

このステッカーを店頭に表示していただくことにより、一般のお客様に補助犬に対する理解を深めていただくとともに、補助犬ユーザーの方々が安心して各施設を利用できることを趣旨としています。

「補助犬同伴可ステッカー」についてのお問い合わせは全国盲導犬施設連合会にお電話(03-5367-9770)、もしくは当連合会ホームページをご覧ください。



〈補助犬同伴可ステッカー〉

メットライフ生命は1995年以来、
盲導犬育成活動を支援しています。



MetLife
メットライフ生命

いい明日へ、ともに進んでゆく。

www.metlife.co.jp

2021
(令和3)
年度

全国盲導犬施設連合会 主な活動報告



盲導犬普及を進める広報誌を発行



●「DUET30号」を発行(年1回)

30号を記念して全国盲導犬施設連合会の活動について特集。募金箱と一緒に常設する他、各種イベントで配布しました。

●2021年度ポスターを作成

DUETと一緒に、募金箱設置協力店などで掲示しています。

●「盲導犬情報」を発行(年2回)

盲導犬ユーザー、点字図書館、行政などへ盲導犬に関する情報を提供する為の冊子です。点字版、CD版の他、墨字(活字)版も発行しています。

全国盲導犬施設連合会ウェブサイトでも閲覧可能

全国盲導犬連合会

検索

盲導犬受入の促進

●補助犬同伴可ステッカーの作成配布

盲導犬をはじめ補助犬ユーザーの受け入れをスムーズにしてもらうため、店舗入口等に貼っていただく「補助犬同伴可ステッカー」を無償で配布しました。

●「盲導犬ハンドブック」の配布

視覚障害者が盲導犬同伴で様々な施設を利用する際、受け入れ側の施設の皆様がどのように受け入れればよいかを絵と図でまとめた「盲導犬ハンドブック」を配布しました。施設や店舗へ無料で配布しておりますので、ご希望の方は当連合会までお気軽にお問い合わせください。

補助犬は
一緒に
入れます!



(補助犬同伴可ステッカー)



(盲導犬ハンドブック)



認定NPO法人全国盲導犬施設連合会には、日本全国の国家公安委員会の指定を受けた盲導犬協会8団体(P13～P14参照)が加盟しています。皆様からお寄せいただいた募金・寄附は日本全国の盲導犬育成と普及の為に、大切に活用させていただきました。

盲導犬訓練士・歩行指導員の資格認定

全国どこの盲導犬協会でもほぼ同じレベルの盲導犬を輩出できるように、盲導犬候補犬を訓練する「盲導犬訓練士」と、視覚障害者へ盲導犬との歩き方や日々の世話の方法などを指導する「盲導犬歩行指導員」の資格認定を行っています。筆記試験・実技審査の結果、2021年度は6名の訓練士と4名の歩行指導員の資格を認定しました。



身体障害者補助犬健康管理手帳の作成

盲導犬ユーザーの方が盲導犬を同伴する際に所持する書類である「身体障害者補助犬健康管理手帳」を作成し、加盟施設を通して盲導犬ユーザーに配布しました。

「身体障害者補助犬健康管理手帳」は盲導犬の衛生確保のための健康管理の記録およびその証明のために活用されています。



「盲導犬普及啓発活動」について

例年、主に募金箱設置店や寄附協力企業のご協力により、多くの皆様へ盲導犬について知ってもらうために、盲導犬の仕事や訓練方法を紹介するイベントを全国各地で実施しておりますが、2021年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、実施を予定しておりましたほとんどのイベントが中止となりました。

皆様のご支援・ご協力で2021年度の事業を行うことができました。誠にありがとうございました。

盲導犬育成費用への助成

無償で貸与している盲導犬の育成費用に対する自治体からの助成金には頭数・金額に限りがあるため、盲導犬協会が、視覚障害者の方へ盲導犬を貸与する場合、全国盲導犬施設連合会から一部補助として、1頭ごとに200万円の助成・補助を実施しています。(2021年度は10頭分を助成・補助)



盲導犬育成ジャパンセミナーの実施

各盲導犬協会の訓練士等が、日頃の現場での事例や研究成果を発表する「第7回盲導犬育成ジャパンセミナー」をオンラインとの併用で開催。互いの知識を学び合う事で、良質な盲導犬の育成と視覚障害者の自立のための支援に向けた、相互研鑽の場となりました。



パトラッシュ基金～活動報告～

2010年から始まったパトラッシュ基金は、現在までに3千万円を超える基金額を皆様よりお寄せ頂いております。ご協力頂いた皆様へ心よりお礼申し上げます。



国家公安委員会指定 加盟施設一覧



認定NPO法人

全国盲導犬施設連合会

HPアドレス:www.gd-rengokai.jp

〒162-0065 東京都新宿区住吉町5-1 吉村ビル2階 TEL 03-5367-9770 FAX 03-5367-9771

公益財団法人 関西盲導犬協会

会長 平芳 一法 HPアドレス:kansai-guidedog.jp

〒621-0027 京都府亀岡市曾我部町大飼末ヶ谷18-2
TEL 0771-24-0323 FAX 0771-25-1054

世界的にも稀な木造犬舎「木香テラス」では、より家庭に近い環境の中で盲導犬を育成しています。木香テラスで育った盲導犬とともに、視覚障害者が安全に歩行し、安心して暮らせるよう、盲導犬の育成、社会への啓発活動に積極的に取り組んでいます。



社会福祉法人 日本ライトハウス

理事長 橋本 照夫 HPアドレス:www.lighthouse.or.jp

法人本部 〒538-0042 大阪府大阪市鶴見区今津中2-4-37
TEL 06-6961-5521 FAX 06-6968-2059

盲導犬訓練所 〒585-0055 大阪府南河内郡千早赤阪村東阪1202
TEL 0721-72-0914 FAX 0721-72-0916

日本ライトハウスは目の見えない・見えにくいの方のための総合福祉施設として日本で初めてリハビリテーションセンターを開設しました。法人事業は1922年に点字図書の作成から始まり、2022年に創業100年を迎えます。盲導犬訓練所は2020年に50周年を迎えました。これからも視覚障害者がその人に合った方法で社会参加ができる支援を目指します。



社会福祉法人 兵庫盲導犬協会

理事長 堀口 清隆 HPアドレス:www.moudouken.org

神戸総合 〒651-2212 兵庫県神戸市西区押部谷町押部24
訓練センター TEL 078-995-3481 FAX 078-995-3483
KLCオフィス 〒652-0802 兵庫県神戸市兵庫区水木通2丁目
1番9号 中山記念会館3F
TEL 078-521-0081 FAX 078-521-0082

視覚障害者が笑顔で安全に歩けるように…役職員一同、情熱を持って盲導犬育成に取り組み、盲導犬使用者それぞれのニーズに応じたサービスを提供しております。また、社会全体へ視覚障害者や盲導犬への理解を深めて頂くために、地域の小・中学校や商業施設での啓発活動にも力を注いでいます。



公益財団法人 九州盲導犬協会

理事長 中村 博文 HPアドレス:www.fgda.or.jp

〒819-1122 福岡県糸島市東702-1
TEL 092-324-3169 FAX 092-324-3386

「良質な盲導犬を一日でも早く、一頭でも多く届けたい。」当協会創業以来の変わらぬモットーです。総合訓練センターでは、盲導犬使用者の皆様に快適にご利用いただける施設としてサービスの向上に努めてまいります。



公益財団法人 北海道盲導犬協会

会長 伊藤 信賢 HPアドレス:www.h-guidedog.org

〒005-0030 北海道札幌市南区南30条西8丁目1-1
TEL 011-582-8222 FAX 011-582-7715

最北端に位置する当施設は、雪道歩行訓練、利用者のニーズに応じた生活訓練、老犬ホームの運営など、視覚障がい者の支援と安心のために様々な取り組みに挑戦しています。待っている人達の笑顔のために、一刻も早く応えることが目標です。



公益財団法人 東日本盲導犬協会

理事長 高橋 文吉 HPアドレス:www.guide-dog.jp

〒321-0342 栃木県宇都宮市福岡町1285番地
TEL 028-652-3883 FAX 028-652-1417

視覚障害者に対する地域リハビリテーションを重視し、地域に根ざした良質なサービス提供を心がけています。関東一円を中心に、盲導犬の育成・提供をはじめ、白杖歩行等の生活訓練も行っております。



公益財団法人 日本盲導犬協会

理事長 井上 幸彦 HPアドレス:www.moudouken.net

東京事務所 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町21-3-3F
TEL 03-5452-1266 FAX 03-5452-1267

日本盲導犬 〒418-0102 静岡県富士宮市人穴381
総合センター TEL 0544-29-1010 FAX 0544-54-3030
神奈川 〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田町6001-9
訓練センター TEL 045-590-1595 FAX 045-590-1599
仙台 〒982-0263 宮城県仙台市青葉区茂庭字松倉12-2
訓練センター TEL 022-226-3910 FAX 022-226-3990
島根 あさひ 〒697-0426 島根県浜田市旭町丸原155-15
訓練センター TEL 0855-45-8311 FAX 0855-45-1139

1967年8月10日に厚生省の許可を受け、日本で最初に設立された盲導犬育成団体です。2017年に設立50周年を迎えました。4つの訓練センターの特色は、神奈川は訓練の中心地、仙台は視覚障害リハビリ、富士宮は出産～引退犬まで一貫飼育、島根は受刑者のバビープログラムです。



社会福祉法人 中部盲導犬協会

理事長 伊藤 賛治 HPアドレス:www.chubu-moudouken.jp

〒455-0066 愛知県名古屋港区寛政町3-41-1
TEL 052-661-3111 FAX 052-661-3112

「両手持ち」を特徴とした盲導犬の育成。かつて身を挺して盲導犬使用者を交通事故から守った盲導犬「サーブ」を育てる。視覚障害者の「安全なガイド」と「心の癒し」を保証するために日々努力しています。

